



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syoujukai.org/> E-mail ikoinosato@syoujukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会



第68号御挨拶

理事長 中村 猛

皆さんこんにちは。

桜花爛漫の侯を迎えました。私の早朝散歩道には桜並木が連なっていますが、今朝はほとんどの木に蕾がふくらみ、所々に3分咲きがみられ、この3日後に大阪では桜の開花予定が知らされました。強まった陽光の輝き、抜けるような青空の拡がりが自然のありがたい四季の恵みを与えています。

しかし私達の人間社会ではなお依然として2年過ぎても新型コロナウイルス感染がひびこっています。人々の交流を妨げ、高齢者や持病を持った方々に多大の被害を与え、又、社会の封鎖状態からの経済活動凋落も深刻な課題となっています。

一方、この2月24日に突然、勃発したウクライナへのロシア侵攻は平和な世界を一変させる民主と独裁主義の戦場と化しました。どんな理由があろうと殺し合いの戦争を手段に使わない世界の鉄則が破られ、いたいけない何の

かかわりのない民間人の犠牲者が続出しています。平和な島国日本がウクライナの立場になったらと思うとぞっとする身の毛のよだつ思いがします。

もう、ここまで発達した情報、交通網の世界が一つの場の中で日本も対岸の火事をして安閑としていられない喫緊の課題として全国民が一致結束して、民主化と自国の防衛安全対策を考えればならない時期が来たと考えます。

自由平等、NO戦争等の人類普遍の原理をいかなる場合にも破らない、世界のガバナンス（国連？）の確立が今こそ求められています。絶えずくり返す有史の人類の過ちをもう終わりにしたいものです。



両法人令和4年度入社式オリエンテーション開催

(記：人事部 高杉)

令和4年4月1日（金）、21名の新入職員を迎えて、2022年度の合同入社式を挙行致しました。いまだ新型コロナウイルス感染症拡大への注意が必要な状況ではありますが、新入職員にとっては一生に一度の出来事となる新社会人としての門出を祝うため、感染防止対策を万全に施した上で、中村病院大ホールに一堂に会し、開催致しました。これから社会人として歩み始める彼らを、職員一同、応援してまいりたいと思います。





m 診療報酬改定について

院長 高橋 輝

2年に一度の診療報酬改定が4月に施行されています。診療報酬には医療に関わるルールが規定されています。例えば、湿布薬の処方が今まで1か月70枚の上限であったのが、4月以降63枚に変更されています。病院に対しては施設基準という項目が規定されており、その基準を維持するための数値目標が課されていますが、年々厳しくなっています。基準を維持できるかどうかで病院を選別する、といった国の方針が背景にあります。皆さんには関わりないと思われるかもしれません、基準に該当しない患者さんは入院基準に満たないと判定されます。

ので、退院して頂くことにつながっていきます。国の基準は冷徹で、患者さんには優しくありませんが、当院は皆さんに優しく対応できる病院でありたいと思っています。そのためにも、質の高い医療を提供できるよう、各病棟で現在取得している最高の施設基準を、今後も維持できるよう努力して参ります。とはいえ、国の基準には従わざるを得ませんので、保険診療の制度に則ったルールについては、皆さんもご理解の上、御協力をお願い致します。

m 赴任の挨拶

整形外科 部長 豊田 敬史



今年度から整形外科に赴任しました
豊田敬史と申します。

以前は月曜日の外来担当として勤務しておりましたが、この度常勤となりました。兵庫県出身で関西医科大学を卒業後、日本赤十字社和歌山医療センターで初期研修を修了し関西医科大学整形外科に入局しました。その後は大学の附属病院、関連病院で外傷治療を中心に研鑽を積み今に至ります。

趣味は大阪城の周りを走る事、サウナと水風呂を往復する事で、中村病院からは松井山手の水春が近いので楽しみにしています。

整形外科疾患に関しては勿論、手術・保存療法やリハビリの過程、薬の効果・副作用、骨粗鬆症薬の違いなども丁寧に説明する事を心がけていますので、何でもご相談頂けたらと思います。常に自分の家族ならどうするかを考え最善の医療を提供できる様努力致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

中村記念クリニック・みどりの館



m 「第6波」を振り返って

中村記念クリニック 院長 高橋 載子

色とりどりの花が咲く季節になりました。昨年末、じわりと増え出していた新型コロナウィルスの変異株「オミクロン株」は、新年の始まりと共に大きな「第6波」として押し寄せ来ました。クリニックでもコロナワクチン3回目接種と並行して、関連施設で陽性者が出れば施設に出向きクラスター予防のゾーニング・PCR検査・点滴や内服の早期治療、その後の

経過観察などに追われる日々が続きました。気が付けば大きなクラスターを起こすこともなく、少し落ち着いた春を迎えています。何より現場で踏ん張って対応して下さった職員に感謝すると共に、突然の訪問診療の変更にも応じて下さった患者様方にも改めてお礼を申し上げます。



m みどりの館 春の便り

みどりの館 施設長 清家 康伸



春です。お花見、観光、新年度の始まりなど心も体もウキウキする季節ですね。コロナウィルスの影響は、この「みどりの風」68号が出るころは、おさまっていればいいと思いますがどうでしょうか？おかげさまでみどりの館のご入居者、職員共々クラスターも発生せず平穏な時間が流れております。

最近、ご入居者が中心となって行っている活動にみどりの館の屋上を利用した園芸活動があります。それぞれ好きな草花を植えて楽しめています。今から植物も元気になってどんな庭園ができるか楽しみです。土を触ると心も穏やかになり、体力も使うのでいいリハビリにもなっているようです。みどりの館は地域の皆様に信頼され頼られるように活動していきたいと思います。ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

m 新入職員を迎えて

サテライトなごみの里 施設運営マネジャー 玉置 賢



毎年、みどり会では多くの新入職員を迎えますが、今年度はなごみの里（サテライトなごみの里含む）あわせて5名の新卒者が来てくれました。なごみの里では以前より新人研修に力を入れており、自慢できる部分だと自負しています。今回はなごみの里での新人研修の取り組みをご紹介したいと思います。

まず、最初の2週間は毎日研修があります。内容としては、自分たちの働いている施設の社会的意義や使命を確認したり、介助方法や高齢者ケアに関する実践的内容など様々なことを学びます。その後は、8月末まで週1回の研修となります。そこでは社会人として最低限必要とされるスキルといった基礎的な内容から、リスクマネジメントなどの応用的な内容まで

幅広く学ぶことができます。9月からは、研修頻度は月1回となり、グループ研究に取り組みます。そして次の4月に研究成果を発表することで、やっと新人研修が終了します。

なぜ私たちがここまで新人研修に力を入れているのかというと、医療法人みどり会の理念に「温かい思いやりのある医療」というものがあります。温かい思いやりをご利用者に提供するためには、まず職員自身が温かい思いやりを法人から感じることができないと、実現はできないと思うからです。新人の皆さんには、様々な研修や先輩職員との関わりを通じて、「温かさ」や「思いやり」の心を感じてもらいたいと考えています。そして、昨日より今日、今日より明日、ご利用者へのサービスが良くなっていくことを期待しています。



新型コロナウイルスとの共存

なごみの里 看護師長 岩下慶子



長引くコロナ感染症との戦いの中、世界全体では、これまでに3億7000万人以上が感染、500万人以上が死亡し、日本でも600万人以上が感染、2万7000人以上が死亡しています。オミクロン株は、感染率は高いが「重症化しにくい」と言われておりますが、重症化する人はいるのです。感染率が高いということは、感染者の絶対数が増えるということで、重症化する患者さんも当然増え医療ひっ迫につながります。実際、なごみの里で感染者が出た時も入院という選択肢はありませんでした。施設内のフロアでビニールカーテンにより感染エリアを作り「家族の職場で感染者が出た」「保育園が休園となつた」など出勤できない職員が多い中、感染エリアに入る職員の確保、感染エリア外の職員の確保、他フロアからの応援を

受け、何とか乗り切ることが出来ました。感染エリアの閉塞感、緊張感、自分が感染したり、家族を感染させてしまうのではないかという不安から、徐々に職員の心身疲労が強くなっていき、終息を迎えたころには燃え尽きてしまった職員もいたことは事実です。それほど施設での感染対応は過酷なものでした。新型コロナウイルス感染症は、感染してもしなくても、今まで当たり前だと思っていたものを根こそぎ失ってしまう事態を引き起こしています。このウイルスは日本中、世界中に存在していて、今後も存在するものだと受け入れ、予防行動を多くの人が実践し「敵を知る」ことで共存していくためのすべて手に入れていかなければならないのではないでしょうか。

グループホームたんぽぽ長尾



グループホームで健康に過ごしていただくために

グループホーム
たんぽぽ長尾 所長 山田 淨明

グループホームでは認知症の方々が共同生活を送られております。日々生活の中で、入居者様の健康面の変化には常に注意が必要です。健康に関する事は食事や運動、趣味活動、口腔ケア、睡眠等あります。

グループホームたんぽぽ長尾でも、ご入居様の日々の食事量や水分量、検温、血圧測定のチェックやレクリエーションやりハビリテーションでの活動、運動の促し、訪問歯科と連携を図った口腔ケア等を行い皆様が健康に過ごしていただけるように努めています。

睡眠に関しては、夜勤者の巡回のみではなく、昨年4月の移設の際に導入した『眠りSCAN』も活用しながら、睡眠時

間や睡眠状況を確認しております。必要であれば睡眠データをもとに病院との連携も図っております。

認知症や施設入居等でお困りの方、気になっていることがある方がございましたら、お気軽にご連絡ください。宜しくお願い致します。



在宅支援



只今新年度の事業計画立案中です

枚方市地域包括
支援センターみどり 所長 伊内 康宏

毎年、包括では事業実施計画を立案しています。

計画の目的は「高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるようにする」ためのものです。関係機関とネットワークを構築したり、地域課題を発見したり、地域づくりをすめるために、包括ではいろんな会議を行っています。

この会議は、介護保険法115条48に基づいて実施される「地域ケア会議」になります。

「地域ケア会議」は高齢者の個別の課題解決を行うだけで

なくて、支援体制の弱さなど地域の課題を整理する役割もあります。そのためには、個別ケースの検討の積み重ねがやはり「肝」で、その積み重ねが地域の高齢者の生活のニーズとなるので、とても大切になります。

現場包括と市の担当者とで、目下計画書をすり合わせ作成しております。少しでもブラッシュアップした計画、そして実のある実施となるようにしっかり立案してまいります。



令和4年度 理事会を終えて

いこいの里長尾 施設長 大塩剛司



令和4年3月17日に社会福祉法人松樹会の理事会が開催されました。

例年は施設ごとに事業計画を発表しておりましたが、松樹会の運営する事業も多くなったため、今年度の事業計画は特別養護老人ホーム部門、ケアハウス部門、グループホーム部門、多機能部門、障がい部門、デイ・居宅部門の6部門に分け、部門別での目標や取り組みを発表しました。また、昨年4月に開設したいこいの里新棟、いこいの里長尾、看護小規模多機能ホームながおの3事業もコロナ禍ではありましたが、

様々な方のお力添えにて安定した運営を行うことが出来ております。

事業計画の取り組みの1つとして、長年運営を支えてきた施設は設備に不具合が出ることもありますので、利用者様に安心して頂けるよう、計画的に修繕を行いたいと考えております。引き続き地域の皆様へのご要望に応えることが出来る運営を心掛け、職員一同、力を合わせて頑張ってまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



看護小規模多機能ホームながおについて

看護小規模

多機能ホームながお

計画作成担当者

福田恵太



令和3年4月にオープンしました、看護小規模多機能ホームながおでございます。

枚方市で初めての看護小規模多機能というサービスで、事業所での宿泊や通うサービス、またご自宅へ看護師・介護士が訪問させて頂くサービスを一つの事業所で行わせていただいております。

ご自宅での介護は大変で、介護をされているご家族の方が疲れてしまうことがあります。そんな時に宿泊・通い・

訪問のサービスを組み合わせて自宅での生活が少しでも続けられるように色々な方法を考え対応させて頂いております。もちろんご自宅で介護されるご家族の方の協力が必要になります。出来るだけ自宅で頑張りたいが、家族での介護に限界を感じておられる方は是非一度お声掛けいただければと思います。

これからも長尾の地域で頑張ってまいりますのでよろしくお願いいたします。



新入職員を迎えて

いこいの里藤阪 施設長 岡崎基



春になり日差しも日に日に暖かな雰囲気となってまいりました。桜も満開になる中、4月1日に松樹会にも新入職員を迎えることとなりました。今年は、介護職として3名、本部事務員として2名の合計5名が入職しました。昨年同様、丹波篠山市にあります「篠山学園」よりベトナム国籍の介護スタッフも2名を迎えることとなります。昨年採用しました先輩も1年の社会人生活の中で、仕事だけでなく日本文化の交流なども行い、これから日の日越の文化交流の懸け橋にも当法人が貢献できればと思います。新しい2名のスタッフには、日本での仕事を通じて、より良い人生の一助に貢献できればと思います。

4月1日以降は、法人内のオリエンテーションを経て、各

部署での研修業務にあたります。諸先輩の皆様も新しいスタッフを迎えて喜びもあり、緊張もしていることでしょう。新入職員のみんなが5年後には、はきはきと業務に邁進していく姿が目に浮かぶようです。社会人の先輩として、お手本になるような仕事を見せていただきたいと思います。

改めて、入職おめでとうございます！



各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
デイサービスセンター いこいの里 サテライト いこいの里 072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪 072-868-2192
特別養護老人ホーム いこいの里長尾 072-868-1893
ケアハウス つくしんぼ長尾 072-868-2190
デイサービスセンター 長尾 072-868-2191
ケアハウス つくしんぼ藤阪 072-868-2197
グループホーム たんぽぽ藤阪 072-898-2193
グループホーム たんぽぽ田口 072-868-2193
小規模多機能ホーム ふじ 072-868-2193
看護小規模多機能ホーム ながお 072-868-1894
居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
福祉サービス ミルキーウェイ 072-867-5690

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071
中村記念クリニック 072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072
サテライトなごみの里 072-818-2071
デイサービス 長尾の里 072-818-2071
有料老人ホーム みどりの館 072-868-2727
グループホーム たんぽぽ長尾 072-868-2195
ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
地域包括支援センター みどり 072-845-2002
研修所 みどりの樹 0264-44-2550

ルーク山田眼科 072-868-0880

編集後記

4月に入り新しい年度が始まりました。当法人も新入職員を迎えており、オリエンテーションを行ないました。新型コロナウイルスにより生活環境が一変した方も多いいらっしゃることと思います。生活環境が変わることはさまざまな苦労を伴うものであります。春の芽吹きとともに一日早く穏やかな日が訪れる事を祈っています。又、先般職員の親睦レクリエーション活動を支える親和会・同好会総会を開催しました。コロナ禍での親睦活動も難しいところもありますが、情況に合わせた行事を積極的に進めて行こうと決意したところであります。皆さま新年度で何かと御多忙かと存しますが、体調を崩されませんように。次号の季刊誌「みどりの風」夏号は、7月初旬頃発行予定です。今後とも御支援、御指導の程よろしくお願い致します。

みどりの風編集委員会

連絡先 ☎ 072-868-2071 法人本部 松田